

コクヨ(株) 環境への取り組み ~環境に配慮した取り組みがたくさん!~



品川駅港南口を出て左手、港南1丁目に「KOKUYO」と書かれたビルがあります。このコクヨグループの「東京品川オフィス」「東京ショールーム」では、さまざまな環境配慮の取り組みを積極的に行っています。

昨年11月、5階建てショールーム棟の最上階に、「エコライブオフィス品川」をオープンし、1フロアで年間約56トンのCO2削減を目指しています。その中で特徴的なのが、「ガーデンオフィス」と言われるスペース。これは外で仕事をすると新しい取り組みです。外で仕事をすることによって、オフィスの電力消費量を減らすとともに、社員の生産性向上を目的としています。ただ、暑い時期や寒い季節にはどうしても外に出たくなくなります。そこで、「ガーデンワークツールプロジェクト」というプロジェクトチームを立ち上げ、どうしたら外で仕事を多くしてもらえるかということを考えています。夏はサングラスや日焼け止め等、冬は膝掛け等の貸し出しを行うなどの提案をしています。

また、エレベータを使わずに階段を使ったり、「ガーデンオフィス」で仕事をするとポイントがたまる制度があり、3か月に一回、ポイントが高い社員の表彰を行うなど、インセンティブを付けて社員の意識向上に努めています。その他にも、社員は皆マグカップを持ってきていて、自販機のペットボトルと紙コップのゴミを減らせる仕組み、省エネのためにセンサー付きLED照明を使用したり、エレベーター一基を停止させるなど、あちらこちらにエコへの取り組みがありました。



室内オフィスの中央には緑が植わっています



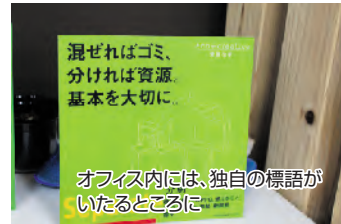
階段の途中でIDカードをかざすと、ポイントがたまる仕組みに。エレベータを使わないと、エコにも健康にも良いですね!



間伐材を使用した役員フロア 黒色の天井も落ち着きます



「ガーデンオフィス」で仕事をすると新しい!



混ぜればゴミ、分ければ資源。基本を大切に。

オフィス内には、独自の標語がいたるところに

都会の真ん中で稲刈り!



11月18日、都会ではまず見られない風景、稲刈りが芝浦1丁目の田んぼで行われました! 6月に植えた稲が町会関係者の日ごろの活動が晴れて実り、ついにこの日収穫を迎えたのです。

保育園の子どもたちも集まり、鎌やはさみで頭をたれた稲穂を収穫。都会の真ん中に心地よい秋風が駆け抜けたひと時でした。



アマモの種をまきました!

10月30日に、台場児童館のエコレンジャーのみなんでアマモの種をまきました。

アマモは浅い海に生える海草で、そこには魚が卵を産みつけたり、ちいさな魚の隠れ場所にもなったりする、海の生き物にとって大切なところで「海のゆりかご」と呼ばれています。アマモ場を作ることによって、お台場に海の生き物呼び戻そうという取り組みです。

この日は、ペットボトルの中にアマモの種と、お台場の海の沖にある砂と、海水を入れ、それぞれ家に持ち帰り冷蔵庫に保管しました。水温が下がるとアマモが発芽するので、冷蔵庫の中で大切に育て、丈夫な苗になったらお台場の海に移植します。

みなんで、お台場の海が魚や貝などがたくさんいる、きれいな海になるようにがんばっています。



運河についての講座が行われました

10月15日、リーブラ4階で、運河を美しくする会と総合支所の共催で区民向け講座が行われました。題して「~私たちの運河を知っていますか?~」。講師は、運河を美しくする会の山岸秀樹さん。このまちの運河がいつどのようにしてできたのか、現在の運河の環境状態を知り、どのようにすればより美しい運河のあるまちになるのか等、芝浦港南地区ならではの講座となりました。



講座にはたくさんの方が参加されました

東京ベイ・クリーンアップ大作戦!

「東京港を泳げる海に!」を合言葉に、平成8年から実施している東京ベイ・クリーンアップ大作戦が、11月7日に開催されました。



気持ちよく晴れたお台場の空の下、サントリーホールディングス(株)をはじめとする地元企業ほか、400名ほどのボランティアスタッフが集まり、1時間にわたってお台場海浜公園内の清掃を行い、可燃ごみ、不燃ごみ合わせて約220キロを収集しました。

今回は平成22年6月に、海浜および海底清掃を実施する予定です。

企業も清掃活動を行っています

11月10日、グランドcommonsの事業主が中心となり、JR品川駅からグランドcommonsの端まで、約400mにわたって道路の両側の清掃活動を行いました。約30名が参加しての清掃活動は午前9時15分から行われ、たばこの吸い殻、空き瓶、空き缶等多くのごみを回収しました。2003年に竣工したグランドcommonsでは、各事業主による音楽イベントの開催やショールームでの写真展等、文化的な活動で地域に貢献してきましたが、全事業主が一体となった活動は今回が初めての試みでした。約1時間の清掃を終え、捨てられたごみの多さに驚きつつも、まちがきれいになることの心地よさを参加者全員が感じる事ができた有意義な活動でした。

今回のような清掃活動は継続することが大切ですので、今後も定期的に行っていきます。また、今後は品川駅周辺のグランドcommons以外の企業とも協力しながら、地域の美化・活性化等に貢献していきます。



清掃活動の様子



放置自転車への警告も同時に実施

連載コラム 地域で広がるクリーン活動の輪 誰でも本当はキレイ好き

ここ数年、まちのあちこちでポイ捨てされたゴミを拾う人々を見かけることが多くなってきました。大人も、子どもも無心になれる清掃活動は、それを見る人まで穏やかな顔になる平和な光景です。路地裏や歩道が清潔なまちは、そこに住む人たちの文化度の指標とも言われます。

12月になると多くの人々は掃除をし、花を飾り、少しでもキレイな環境で新しい年を迎えようとしています。年が明けると初日の出や初詣をし、意識せずとも心身共に浄化されたような気分にもなります。深山の修行僧に学ぶべくありませんが、ゴミを拾い、掃き清めるという単純な作業で得られる爽快感は、続けることで脳にも心身の活性化にも効果があるように思えます。 べいあっぷ編集部 石井弘子

